



発行所：みんなで政治を考える会  
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2  
ケイハンシティビル601  
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智  
国会事務所  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1  
参議院議員会館632号室  
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。  
題字：栢木寛照

# えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)  
第3種郵便物認可 平成2年1月18日  
口 座 01000-4-62360

平成21年 12月号  
No.221

京都の智恵を日本に活かす。  
二ノ湯智ホームページ <http://www.ninoyusatoshi.com>

## 自民京都府連、街頭演説を実施 民主党の横暴な国会運営を非難



左・伊吹、右・西田、二ノ湯・中央の衆参議員

### 党再生、政権奪還の意気込みを示す

夏の総選挙で政権を失って、いささか意気消沈の自民党。自民党京都府連では、4日に終了した臨時国会の報告と、最近の政治課題を市民に訴えるために、12月5日(土曜日)、広報委員会、青年局の共催による街頭演説会を開いた。京都タワー前、阪急西院駅前、北野白梅町イスマイヤ前、四条河原町の4ヶ所で行い、弁士は二ノ湯さとし、西田昌司両参議院議員、伊吹文明衆議院議員の3名。臨時国会において、野党(自民党、公明党)が衆参両院の予算委員会、あるいは党首討論で小沢一郎幹事長の西松建設による裏献金問題、鳩山首相の偽装政治献金に関する総括審議を求めたにもかかわらず全く無視し、多くの法案を僅かな審議で成立させたことを強く非難した。二ノ湯議員は

96%以上の党員の信任を受けて、再度党本部に公認申請が決定し、晴れやかな気分できな握り、「金にまみれた小沢幹事長、鳩山首相が指導する民主党には日本の政治を任せられない」と市民に訴えた。

### 恒心

★民主党の小沢幹事長が140人も国会議員を引き連れて中国を訪ねた。自分の力を中国首脳に誇示したい意図はありありである。へりくだって中国のいうことをハイハイと聞くイエスマンになってはならないと心配していたら、案の定心配的中した。★小沢氏の中国訪問と歩調を合わせるように、いったん断っていた日程を変更し、日本政府は中国の習近平国家副主席と天皇陛下との会見を実現させた。★宮内庁長官はごり押しの特例会見に不満を漏らした。★天皇を政治的に利用してはならないし、またされてもならない。中国側の要請がどれほど強かったのかわからないが、天皇との会見が小沢一郎という政治家の鶴の一声で決まったとしたら、むしろ小沢氏の存在と強引さを見せつけたに過ぎない。★北京で主席に会った後、ソウルに飛び韓国李明博大統領と会見した。その席上、日本国内で長年懸案となっていた地方参政権についても、来年の通常国会で政府提案として国会に提出、法案を成立させることを約束した。政府と党でどのような話し合いがされているのかわからないが、このような重要な問題を簡単に約束するとは何事か。★日本国憲法では選挙権は、国民固有の権利であると明記してある。参政権を外国人に与えたら、今後日本の政治にどのような影響を及ぼすのか真剣に検討する必要がある。無理が通れば道理が引つ込む。小沢氏の強引な政治手法には、非常に危険なものを感じる。その小沢氏に民主党内から誰も批判の声を上げない。全く情けない議員ばかりである。

# 自民党京都府連、全国で初めての試み

## 参院選で信任投票を導入

政権構想会議(議長・谷垣禎一、議長代理・伊吹文明衆議院議員)から、谷垣総裁に参議院選挙の候補者決定手続きについて勧告が行われた。その中で、①年内に候補者を決定できるように作業を進めること。②透明感のある公正な選挙方法と党員が広く参加できること。③信任投票を実施することなどが明記されている。これを受けて、党執行部は次期参議院選挙区の候補者選定に関する基本方針を作成した。基本方針では、京都府のようにすでに党本部に申請を行っている都府県連の公認候補者については、可能な限り党員による信任の手続きを経ることが望ましいが、都府県連の候補者選定機関(選定機関に衆議院選挙区支部長等を加える)における追認をもってこれに代えることができるものとする(こと)となっており、二ノ湯参議院議員の場合、谷垣、伊吹両議員も参加した京都府連の選挙対策常任委員会で公認候補者と決定しており、追認の手続きはあえて必要がない。しかし、谷垣総裁と政権構想会議の伊吹議長代理を出している事情を考慮して、京都から新しい自民党の姿を見せるため信任投票を実施した。

### 党員による信任調査結果 二ノ湯参議院議員、 大多数の信任を得る

11月20日付けで郵送された自民党京都府連による参議院公認候補者決定に関する党員の意識調査は30日で締め切られ、その調査結果が判明した。

党員宛数	14,050	
返送部数	5,065部(返送率36.4%)	
内訳	賛成	4,517(89.2%)
	反対	457(9.0%)
	賛否記載なし	91(1.8%)
	未返送部数	8,861(64.6%)

ただし、返信用はがきに「返事がない場合は、反対でないと処理する」と明記したので、未返送部数を賛成票として扱おうと、賛成が13,378(96.1%)

### 自民党内外から批判相次ぐ 政治献金疑惑と参議院議員の定年制

自民党の参議院候補者は選挙区の場合、定年制がないが、比例区には70才という定年制が敷かれており、それを超える人は公認候補となることが出来ない。しかし、夏の総選挙で落選したいわゆる大物と言われる70歳以上の元衆議院議員が比

で、大多数の党員が二ノ湯参議院議員の公認申請の府連決定を了承したことになった。なお、賛否に見られた主要な意見は次の通りであった。

△賛成・活動実績と候補者個人に対する評価・党が結束して立ち上がる時に適任である。今後は事前アンケート・公募などを考えよ

△反対・党の再生に向けて若返りを図るべき。・公募の採用

12月3日に開かれた京都府連の幹部会・常任総務合同会議で、信任投票の結果が発表され、二ノ湯参議院議員の公認申請が満場一致で承認された。翌日、京都府連より党本部に、再度公認手続きがとられ、年内には公認される予定。



**このままでは自民党は再生出来ない**

鳩山(弟)「税金を払えばよい」二階(おとがめなし)―なお、後日、選対局長と幹事長代理を辞任をしたが「こんなことが通用するのか? 300議席の政権与党ならいいが、100議席の野党がどうして先の衆議院選挙で大敗したのか? 国民が自民党から離れていったのか? 何も反省していない。昔の自民党として捨てられてしまふ。何も変えられない、再生の出来ない自民党として国民・地方党員・地方議員も自民党を離れてしまふ。100歩譲って役職解任! 50歩譲って離党! ではないのか。マスコミに扇動され世論に追い詰められてからより、出来るだけ早く決断するべき。マスコミ・民主党は、鳩山対鳩山、二階対小沢どっちもどっちで片付けるつもりだ。追求の力を削がれるのではないか? 民主党攻撃の前にまず自民党の過去の過ちを認め、新しい正論の自民党をアピールする千載一遇のチャンスだ。

京都府議会議員(自民党) 巽 昭

例区で立候補の動きを見せている。党執行部も地元で大量の得票が見込め、当選の確立が高いと判断、公認をする構えである。これに対して、参議院議員の若手有志が、①参議院は落選した衆議院議員の受け皿でない②もしそのようなことになれば、参議院の権威が著しく低下するばかりか、2院制の意味がなくなり、参議院の自殺行為である②次の参議院選挙こ

そ自民党存亡の戦いである。例外を許し、70才以上の候補者を公認するようなことになれば、自民党の勝利は望めない。自民党は変わった、反省したという印象を国民に与えるためにも例外を認めてはならないと、党執行部に公認をしないよう運動を進めている。この動きに同調する参議院議員は声こそあげていないがかなりの数に上り、二ノ湯議員もその一人である。

思い出の

前尾繁三郎先生  
政治と学問の両道  
③

人格・識見、群を抜く

比叡山での青年研修会

苦勞して勉学に励んだ前尾先生は、

日本の将来のために、若い人を教育し、人材を育成しなければならぬと考えていた。昭和46年から比叡山延暦寺で開いた京都青年研修会は、自ら会長を務め、その規模といい、講師陣の内容といい、政治家の研修会としては最高級のレベルではなかったか。定員20名3泊4日の日程で、費用は交通費以外、一切研修生の負担なし。全て前尾先生



自身が個人で賄う方式であった。延暦寺会館は現在でも営業しているが、1泊2食付きで1万円の宿泊費である。それを考えると莫大な経費を必要とした研修会であったが、前尾先生にとつては、僅かな期間、静寂な叡山で全国の青年達に囲まれ、一流の講師陣の話の聞くことが最大の楽しみであったに違いない。

この研修会は当初、東京の前尾事務所が企画、立案していたが、昭和48年から正式に秘書となった私は、せっかく地元で開催するのだから、講師の半分は京大の先生を起用したらどうかと先生に進言した。梅原猛、市村真一、会田雄次、奈良本辰也、高坂正堯、森口親司各氏など京都学派を代表する先生達に交渉したのも今となつては懐かしい思い出である。若き日の矢野暢氏は、京大講師の肩書であった。前尾先生に頼み講師陣に加わっていた。フィールズ賞、文化勲章を受章された広中平祐氏に、京大の研究室まで直接頼みにあがったこともある。

講師にはできるだけ斯界の権威に来ていただき、研修会のレベルを上げたかった。そのためには、京都学派を代表する学者である吉川幸次郎先生をぜひ招きたい。それは、語源、字源の研究をされ、漢字に造詣の深い前尾先生と吉川先生を引き合わせたいという私の強い思いからであった。確か、昭和50年の研修会で

あつたと思う。吉川先生に講師としてお出でいただく了承を得るために、衆議院議長公邸に前尾先生を訪ねた。その時、同席していた黒金泰美氏(元内閣官房長官)が、「君、本当に吉川博士は来てくれるのかね」とおっしゃった。私は意地になって「必ず来てもらいます」と言った。数日後面会の約束もせずに、私は北白川の吉川先生を訪ねた。不意な訪問に吉川先生は嫌な顔もせず、私の願いに耳を傾けて下さった。

一週間後、返事を聞きに再び先生のお宅に伺った。先生は「前尾先生は出席されますか」と尋ねられ、さらに「衆議院議長は来られるのですか」と念を押された。私は即座に「出席します」と答えた。先生は「わかりました。出席させていただきます」と承諾された。ところが困ったことに、研修会の直前に、前尾先生は体調をくずされ、初日の記念講演が中止となった。前尾先生は必ず出席されますねと吉川先生に何遍も念を押されただけに、もし前尾先生が出席できないとなると、私は吉川先生に嘘をついたことになる。

しかし流石は前尾先生であった。大家吉川先生が自分の研修会に出席されるのを多とされたのであろう。吉川先生の講演の日だけは無理を押し出席された。吉川先生の講演の冒頭の言葉を私は今も

鮮明に記録している。

「私は、前尾繁三郎という政治家にかねてから興味をもっていた。それは、私が関係している天理大学図書館の善本叢書を神田の八木書店から出版することになった時に、最初に予約された方が前尾さんだったからである」恐らく吉川先生は、そんな難解で、高価な本を買う人は、余程の専門家か好事家しかいないと思われていたのであろう。これを聞いていた前尾先生は、にっこり笑って、いたくご満悦の様子であった。

二ノ湯しんじ  
後援会旅行会のご案内

- ◆日時 平成22年2月27日(土)~28日(日)
- ◆参加費 お一人様①駒ヶ根観光コース 32,000円  
お一人様②中央アルプスコース 34,000円
- ◆コース概要(予定)  
27日: 京都→中山道・妻籠宿→駒ヶ根・早太郎温泉(泊)  
28日: ①早太郎温泉→光善寺→かんでんばばガーデン  
②早太郎温泉→中央アルプス千畳敷  
①②コース合流→飯田→京都

二ノ湯さとし後援会の皆様も是非ご参加ください  
参議院議員 二ノ湯さとし事務所 TEL(075)315-2228  
FAX(075)315-2310

新春招福バスツアー

第23回 伊勢神宮初詣

- ◇旅行日 平成22年1月11日(月・祝)
- ◇昼食場所 鳥羽『戸田家』
- ◇会費 8,000円

※参加希望の方は至急お申込み下さい。

◇申込先 後援会役員または  
二ノ湯さとし京都事務所まで TEL(075)315-2228  
FAX(075)315-2310  
参議院議員 二ノ湯さとし後援会

自民党『時局講演会』のご案内

谷垣総裁のもと、党の再生・信頼回復に全力で取り組み、一日も早い政権奪還を目指し、その一環として、「国の姿と安全、地域の活力と安心を目指して」をテーマとして著名な2名の講師をお招きし、開催いたします。

- ◆日時 平成22年2月6日(土) 午後1時30分から午後3時30分まで
- ◆会場 国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)
- ◆会費 一万円(一口)
- ◆講演会 講師 政治評論家 森田 実 先生  
講師 元総務大臣 増田 寛也 先生

☆お申し込みは二ノ湯さとし事務所まで

TEL075-315-2228 FAX075-315-2310

第196回 みんなで歩こう湯歩会

- ・日時: 1月31日(日) 小雨決行
- ・集合時刻: 午前9時(時間厳守)
- ・集合場所: JR湖西線大津京駅(旧 西大津駅)
- ・コース: 大津京駅→近江神宮→皇子山運動公園→三井寺→長等公園→JR大津駅解散
- ・今回は、近江神宮 三井寺へ初参拝を兼ねて歩きます。是非、ご参加ください。

(当日) ☎090-1956-7460

歩くことは健康の基本

第194回 みんなで歩こう湯歩会(参加者75名)



いわくら 石座神社(左京区岩倉)にて

身辺雑記

一、政権にあるときは当たり前のように過ごしていた年末の国家予算要望活動。野党になり、自治体、業界からの陳情がめっきり減って初めて味わう寂しい体験。権力の交代とはこんなものかと実感するこの頃である。1日も早く再生し、政権を奪還しなければならぬ。

一、1億円の「宝くじ」が百万回連続で当たると可能性は絶対的と言えぬ。それ以上に、一人の人間がこの世に生まれる可能性は低い。それだけに私たちは、この世に生まれた幸せを噛みしめ、自らの命を絶つことなく自分の命を大切にしなければならぬ。

一、府内各地を歩いてわかることは、想像以上に各地域の経済が悪化していることである。規制緩和で殆んど薬が売れなくなつた薬局、仕事がなく週休3日制を実施している会社、来年の仕事の予定が全くない建設業者等々、この先どうなるのか。前途を嘆く人の多いこと。

一、京都嵐山にあった嵐峡館を(株)星野リゾートが買取り、今年12日から営業を始めた。部屋代7万5千円が最低の価格。夕食は近くの「嵐山吉兆」かホテル内。朝食はホテル内とする。いずれも別料金。おもに中国、韓国の金持ちを対象らしいが、世界には桁違いの金持ちがいるものだ。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は毎月一回の発行です。毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい  
年間購読料 1200円  
郵便振替口座 01000-4-62360  
口座名: みんなで政治を考える会

— お問い合わせ先 —  
二ノ湯さとし事務所  
電話 075-315-2228

ホームページを開設いたしました  
<http://www.ninoyusatoshi.com>

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会 年会費 1万円

入会申込・お問い合わせ先

二ノ湯さとし事務所 ☎075-315-2228

今年もあと僅かとなりました。この1年私の政治活動に格別のご支援を賜り心から御礼申し上げます。これからも、皆様方のご期待、ご芳情にこたへるべく全力で取り組んで参ります。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を宜しくお願ひ申し上げます。あわせて、皆様方のご健康、ご多幸と新しい年が平和で穏やかな1年であることをお祈り致します。

参議院議員 二ノ湯 智